



がんばる仲間

霊山町という舞台で
自分たちにできることは何か？
そう問いかけながら
がんばっている人がたくさんいます。
人と人のつながりを大切にして、
そして自分自身も楽しみながら...
大きくまちに広がっている
「霊山の元気」を紹介します！

霊山町の顔を花で彩る...。
みんなで協力して
取り組んでいます。

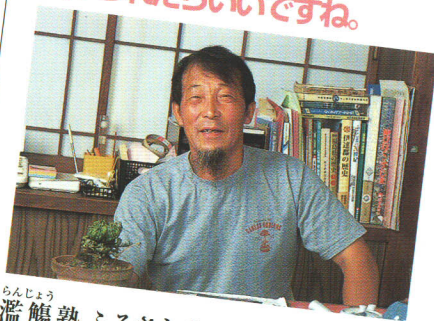


百花繚乱フラワーロード
利根川 淳さん Mr. Jyun Tonegawa

フラワーロード事業時のライオンズクラブ会長（前会長）。同クラブではフラワーロード以外にも清掃ボランティアやモンゴルへの植樹など、幅広く活動中。

わたしが会長をいたしました頃に、国道一五号から掛田バイパスへの入口のところに空き地ができましたね。霊山町の玄関口みたいなものですから霊山ライオンズクラブでこの場所を提供してもらいまして、ラフでこの場所を提供してもらいました。花を植えることになったんです。年に三回ほど手つくりで花壇をつくりました。垣根を付けたり石を置いたり、霊山の顔なのでいろいろ工夫しましたよ。老人クラブのみならず、みなさんも手伝ってくださいました。そのほかにも子どもたちと一緒に空き缶拾いを行っています。これが拾っても拾っても減らなうと（笑）。でも、子どもたちにも「ゴミを捨てなう」ことが大事だということを伝えたいですね。まちをきれいにしようという意識が自分たち自身の中に育つことが大切です。

霊山町の特産品をとおして
ふるさとのおくもりも
届けられたらいいですね。



霊山町ふるさと宅配便
大友 守男さん Mr. Morio Otomo

霊山太鼓まつり実行委員会の初期のメンバーが中心となって設立。霊山町の魅力を再発見しようと「ふるさと宅配便」などに取り組んでいる。

Mr. Tonegawa / It was decided to plant flowers at the vacant land from Route 15 to the entrance of Kakeda bypass. We elaborated the plan because it is the entrance of Ryozen Town. We also pick up empty cans with kids. We hope them to cultivate the mind of making the town clean.

Mr. Otomo / We carry out the activities to promote the town, and "Home Town Delivery" service to deliver limited 200 boxes of Ryozen Town's specialty products is popular. Local rice, fresh apple juice, Chinese lemon, Namako and Shiitake mushrooms, strawberry, seedling of selaginella, and so on. Most of the case, families who went to urban districts buy them feeling nostalgia.

濫觴塾のメンバーは20名ほどで、商店や宮司、農家、医者など、顔ぶれはさまざま。霊山太鼓まつり実行委員会の初期のメンバーが中心となって、まちを少しでもよくしたいなと思って活動がはじまりました。その中でも、霊山町でつくった産品を限定200箱で届けるという「ふるさと宅配便」は、けっこう人気があるんですよ。地場米（コシヒカリ）やリンゴの生ジュース、ユズやなめこ、シイタケなど、だいたい9種類ぐらいは詰めるかな...。イチゴやイワヒバの苗を送ったこともあります。都会に出た親戚や兄弟の人が、ふるさとを懐かしんで買ってくださることが多いようです。そのほかにも豊かな自然環境を守る取り組みも行っています。